

『監査マネジメント』技法マスター講座

～人材育成、心理学や倫理学など様々な角度から監査マネジメントを考察するとともに、

近時のトピックであるマイナンバールール制度監査にも言及～

【開催要領】

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2016年 8月 22日(月) 10:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

マイナンバー対応やコーポレートガバナンス・コードへの対応、報告書制度対策や改正会社法への対応、IT環境のクラウド化など、監査役・内部監査部門も新たな対応が迫られています。しかし、従来の形骸化した細則主義型の機械的な監査対応では、「監査の思考停止」や監査の環境不応などを生じさせ、IFRS化で原則主義型の会計・監査の世界で求められる実態に即した柔軟な対応や根本的な課題解決をはかることを妨げ、監査をすること自体がリスクになる「監査の逆機能」を生じさせてまいかねません。現場のモチベーションを下げ、監査への不信感も募らせて職場の監視社会化やギスギスした内部環境にしてしまうことなく、経営課題に呼応した監査戦略の下で、どのような監査対応をもって監査の実効性向上に導けば良いのでしょうか。本講座では、単純な対処療法ではなく複雑化する監査における各種課題に対して、部門横断的・横糸志向から解決をはかるこれからの求められる「統合的監査」というアプローチや主要論点と対策をご紹介します。

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村智恵 氏

早大卒。米国MBA修了。国連勤務にて国連内部監査業務専門官、国連戦略立案専門官、リーダーなどを担当。民間企業役員として監査統括や、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、経営行動科学学会理事、JA長野中央会顧問、日本監査役協会の全体会パネリストなどを歴任。NHK「クローズアップ現代」TV出演や著書29冊など産官学を通じて幅広く活動中。講師プロフィール詳細は <http://www.jmri.co.jp/> にて。



【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951

※当会 HP からもお申し込み頂けます。企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	37,800円(本体価格 35,000円)	一般	41,040円(本体価格 38,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

161459-0202 監査マネジメント技法マスター講座	
ふりがな 会社名	
住所	
TEL	FAX
ふりがな ご氏名	所 属 役 職
E-mail	

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/川守田 E-mail: kawamorita@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

【プログラム】

1. 経営・監査環境の変化とこれからの監査戦略

- (1) 「組織横断型の統合的監査」の必要性と新たな対応
- (2) 「環境適応型監査」として求められること
- (3) 伝統的監査における問題点
 - ・旧来型の監査論、監査計画、監査基準への過度な依存の弊害等
- (4) 「総合横断監査(GCA)」により、戦略的な監査に向けて
 - ・横断的・多角的視点から課題解決できる監査へ
- (5) プロアクティブ監査で、先手を打って監査の実効性を高める

2. 監査現場における課題解決力向上アプローチ(監査クリエイティビティ、ロジカルな監査対応など)

- (1) 助言型監査(コンサルティング)で必要な課題解決力
- (2) 物事の本質を発見・是正するための監査の論理的思考
- (3) 現場での違和感や素朴な疑問から答えを探すには?
- (4) 監査における「3つの問いかけ」の徹底
- (5) 監査人の課題解決の基本アプローチ

3. 監査人としてのリーダーシップと監査人材の育成(監査HRM)

- (1) 監査人という名の監査におけるリーダーシップのあり方
- (2) 監査は報われない仕事か～監査人にとっての報酬とは?
- (3) これからの監査人材の育成、監査人のキャリアパス
- (4) 監査人の「賞罰罰」による人材指導: しかること、そして、ほめること
- (5) これからの人権対応・ダイバーシティ・ワークライフバランスを理解する
- (6) 監査そのものや監査人自身が多様性を失い画一化していないか?

4. 現場のココロを動かし監査指摘の効果性を高める心理学(監査心理学)

- (1) 監査人が陥りがちな心理的陥穽
- (2) 現場に対する監査人の認識は正しいのか
- (3) 被監査人が抱きがちなる誤解や心理的反発とは

5. マイナンバー制度と監査における対応(特別編)

- (1) マイナンバー制度は人事労務・給与管理部門の内部統制対策そのもの
- (2) マイナンバー全体像と具体的な対応ポイント総まとめ
- (3) ガイドラインに応じた安全管理措置が必要とされること
- (4) Maas(マイナンバー・アズ・ア・サービス)による賢い対策
- (5) マイナンバーで求められる監査対応や監査チェックリスト改訂

6. 実効性を高める効果的な監査技法(定量的監査手法、IT利用監査手法【CAAT】)

- (1) 様々な統計ツール、ITツールの動向と利用上の留意点
- (2) クラウドコンピューティングの要点と「クラウド統制」における監査視点
- (3) ビッグデータの要点・概要とリスク管理型ビッグデータによる
- (4) 「不正の予兆」検知策
- (5) KR I (Key Risk Indicator) によるリスクの指標管理策

7. 人間同士が行う監査の倫理と監査人のあり方について(監査倫理学)

- (1) 監査人自身も人間として過ちを犯しうる存在だということ
- (2) 金融庁「不正リスク対応基準」で求められる2つの重点対策
- (3) 「正しい」ことはいついかなる状況下でも「正しい」のか?
- (4) グローバル経営での「倫理性の衝突リスク」と対処法

※最新動向や社会状況に応じて、上記項目例は適宜改訂・修正させて頂く可能性がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。